2026年度（令和8年度）

外部評価結果

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
Ⅰ.理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会社理念の掲示を行い職員間で共有している。朝の申し送りで会社理念の唱和をしている。カンファで反省や意見を共有している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自治会に加入している。地域の防災訓練、地区清掃、等に参加している。ご近所の方と顔見知りになり挨拶を交わし、わからないことを教えて頂き交流を深めている。	今後も地域と関り、交流を深め、理解や支援を頂ける様に頑張っていく。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人数も増え、意見や情報を多くいただけるようになった。そこでの意見をサービス向上につなげられるよう努めている。	地域の会合の情報をいただき協力体制が厚くなっている。サービス向上に繋げていきたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市の担当者、包括支援センターに運営推進会議の開催と議事録を郵送している。包括さんにはサービスの取り組みを積極的に伝え評価もお願いしている。	包括さんには最終的な評価をお願いし、市にも会議の議事録を郵送している。		

5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束0宣言を行っている。身体拘束適正化委員会を定期的に行い研修も主任会議で年2回行い、職員に周知している。アンケートも実施している。休日、夜間帯を除き、玄関の施錠を行わないようにしている。		A. 充分にできている Ⓑ.ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主任会議で定期的に研修を行い職員にも周知して、虐待に対するアンケートも行っている。アンケート結果はカンファレンスで話し合い防止に努めている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族から相談があった場合、また必要と判断した場合には相談できる体制を整えている。全体研修で勉強会を行っている。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居相談があった時点で施設での不安点、疑問点等は丁寧に説明している。契約時にもわかりやすく説明をして同意が得られている。			
9	運営に関する利用者、家族等	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族会も開催でき、面会時や往診の報告などで直接ご家族とお話しできる機会を設けている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない	

	意見の反映					D. ほとんどできていない	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	月１回のユニットカンファで職員と管理者との意見交換の場となっている。また、管理者は勤務にも入っているため常に提案や相談を受けることができる。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成長シートを活用し各自が目標、反省を記入しそれをもとに、面談を行い働きやすい環境を整えるよう努めている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアアップ制度を導入し、階級に伴った研修を社内で行っている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない Ⓓ. ほとんどできていない	長田地区地域密着会議に参加していたが現在はあまり参加できていない。今後努力していきたい。			

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は共同生活の場であることを常に意識し、共に家事活動を行い散歩に行き季節を感じ、悲しみも喜びも共にして生活できている。職員の子育ての相談をしたり生活の中で嬉しかったことなど報告し共有出来ている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会の緩和や外出が出来ている。ご親戚、お友達、ご近所の方々も面会に来てくださることもある。また入居者様同士で共通の昔なじみの会話もされている。	面会制限が緩和されたことで家族、友人、親戚に会える回数が増えご家族にとっても嬉しいこと。		
Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式 B2B3 をご家族、本人より、記入もしくは聞き取りを行う。日々の行動、発言から思いをくみ取る努力をしている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の今までの生活歴や好みをご家族からお聞きしその人らしく生活できるよう介護計画を作成している。担当者がモニタリングしカンファレンスで見直しをしている。	事例検討を定期的に行いその人にあった介護を考え行うことが出来ている。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	経過記録に個々の気づきを入力し共有している。カンファレンスにて話し合いが出来ている。記録などもケアプランの見直しの材料になっている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族の要望や希望に柔軟に対応している。本人の状態に合わせた役割、体操を取り入れている。またご家族の意向などに臨機応変に対応している。	とても話しやすい環境で気になることをすぐ言えている。 （ご家族）		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	シニアサポーターの利用やグリーンバンクを利用している。地域の自治会館に貼り絵を展示していただいたりしている。	Ⓐでもいいのでは？地域とのコミニュケーションが摂れている。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた　かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望により、主治医を決めている。往診医とは 24 時間連絡がつくようになっており、緊急時や体調不良時にはいつでも診察してもらえる環境をととのえている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時や受診時は出来る限り付き添い情報共有している。また、付き添い時には名刺をお渡しし、電話等の対応もしている。退院時はアセスメントに出掛け、今後の生活に		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

		えて病院関係者との関係づくりを行っている。		ついて医師や看護師と話し合いを行っている。			
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化については入居契約の時にまず話をさせて頂いている。重度化した時にはこれからの生活について本人、家族、医師、看護師と共に方針を情報共有している。自宅に１度は帰りたい等の要望に応えられる様にしている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事故発生時、緊急時マニュアルを整備している。研修でも行っている。緊急時で実際にあったことを申し送りで伝えている。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご近所の方々、大家さんには協力依頼をしている。年に2回は防災訓練を行っている。外に出る訓練、垂直移動訓練を行っている。	Ⓐでもいい。地域の委員会に参加して積極的に取り組んでいる。	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	言葉がけには常に気を付けている。カンファレンスでも言葉遣いの研修を行っている。また、排泄時や入浴時にプライバシーに配慮している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎日の日課は決まっているが、天気の良い日には園芸を行ったり、桜の時期には土手まで行ったり、手作りおやつ、誕生会などそれぞれのご希望を伺い出来る限り添えるようにしている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方その方にあったお手伝いにはなるが切ったり洗ったり片づけなど一緒に行い楽しい雰囲気を作っている。おやつ作りも同様にしている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事量は体調や体格に合わせ医師に相談している。食事は栄養士が作成したメニューを提供している。1 日の水分量もそれぞれの疾病や体格を医師に相談しながら決めている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食後、口腔ケアを行っている。ご自身でできない部分を職員がお手伝いしている。義歯は夜間中ポリデントにつけている。ご自身で行えない方には口腔ウエッティなども使用している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	勉強会で意識を高め今以上に質を上げていくことを勧められた。

31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの排泄パターンをつかみその方に合った時間に対応しています。テープ止めの方の排便時はトイレに座る支援をしています。便秘予防の白湯や体操も取り入れている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ.ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	4時間の時間を取り、ご本人の好みに合わせた温度やシャンプーを使用し入浴後は髪をセットし気持ちよい湯上りになる様支援している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている Ⓑ.ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夜間、不眠の方には日中の活動量のアップを図っている。体調や嗜好に合わせ休息時間を設け、夕食後はクールダウンの時として落ち着いた音楽を流し朗読会を行い就寝しやすい雰囲気作りをしている。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診時には薬剤師が立ち合い、お薬の変更時には本人、ご家族にお伝えしている。職員は毎服薬介助の際に錠数名前を読み上げ別の職員が確認している。内服後の変化については記録、申し送りで漏れのないよう観察している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ.ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人の生活歴を職員間で共有し体操の声掛け、新聞を取りに行くなどその人が無理なくできる役割を行って頂き感謝の気持ちを伝えている。散歩は雨が降らない限り毎日行い１対１でお話をする時間を作っている。月に１度おやつ作りも一緒に行っている。	一人一人にものすごく寄り添っている。入居者様の表情が他の施設とは違いここに来るのが自分も楽しみ。（相談員）		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	面会の緩和によりご家族との外出が出来るようになった。ご希望があれば近くに買い物や地域の交流の場に行くことも行っている。	ご家族と外出される際のサポートを行ったり協力体制が嬉しい。（ご家族）		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望があれば、マスクを着用し、お小遣いを持っていただき近所のスーパーなどに買い物に行く支援を行えるようになった。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご希望があれば電話をかけたり手紙を出したりの支援を行っている。書ける人は年賀状や暑中お見舞いも出している。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設内はバリアフリーになっている。できる限り家庭に近い環境でテレビ、ソファを配置し、季節に合った飾り物、音や光、窓からの風を感じている。居室で静かに休みたい方は居室内で、フロアで人の声を聴いて安心される方はフロアで過ごされている。フロアは毎日、居室は週2回の清掃。布団は週1回干している。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
Ⅳ. 本人暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の発言の中から、本人が思っていることを聞き取り、今はどうされたいかを確認し意向に沿った支援をしている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	B2B3 を使用し、家族やご本人からの情報をもとに本人に合った支援をさせて頂ける様カンファレンスで話し合いをしている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	往診を月に2回、看護師による健康観察を週に1回受けている。施設内では職員が見守れる体制を取っている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	共同生活の為、概の時間は決まっているが、その方に合った生活スタイルで起床や就寝の時間を決めている。また、日中の体調に合わせ臥床時間や休息時間をそれぞれ設けている。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近（自室等）に持つことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の写真、仏壇、椅子、箪笥など馴染みの物を持ち込んで頂いている。洋服もご自身で好きなものを持ち込んで頂いている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催（祭）事に参加することができている	Ⓐ. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族や本人の意向で外出や催事の参加が出来ている。	法事や催事に行けるようサポートをしてくれている。Ⓐにしてください。（ご家族）		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その人その人にあった役割りや個別リハをカンファレンスで話し合い苦痛なく楽しく行えるよう取り組んでいる。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昔取った杵柄、料理や洗濯など得意なことを役割として、毎日の共同生活の中で得意なことを行って頂き感謝をお伝えしている。		A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている ©. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の清掃や防災訓練は参加しているが日常的のご近所と関わることはあまりできていない。外に出た時に合った方とは挨拶は交わせている。	近所の方の苦情で関りは減っているが、清掃や防災に参加できているからよいのでは。		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭に近い環境で共同生活を送り出来ることは自分で行い外に出て体で季節を感じ地域の方々と挨拶を交わし食事作りやおやつ作りでにおいを感じ常に見守られている安心感を持って生活できている。	母の表情がとてもよくなり本当によくしていただいているのがありがたい。（ご家族）	A. 充分にできている Ⓑ.ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

【事業所概要】

事業所番号	2294200395
法人名	有限会社　生陽会
事業所名	にこやかハウス
所在地	静岡県静岡市駿河区丸子6-5-18
自己評価作成開始日	2026.8.19~　　評価して頂いた方々 運営推進会議にて（民生委員会長、社会福祉協議会会員、街づくり協議会副会長、地域包括介護支援専門員、入居者様、ご家族様、管理者）
基本情報URL	https://www.ikiyo.co.jp/nikoyakahouse